
外濠新名所〔案^{あん}外^{がい}〕 三十六景

目次

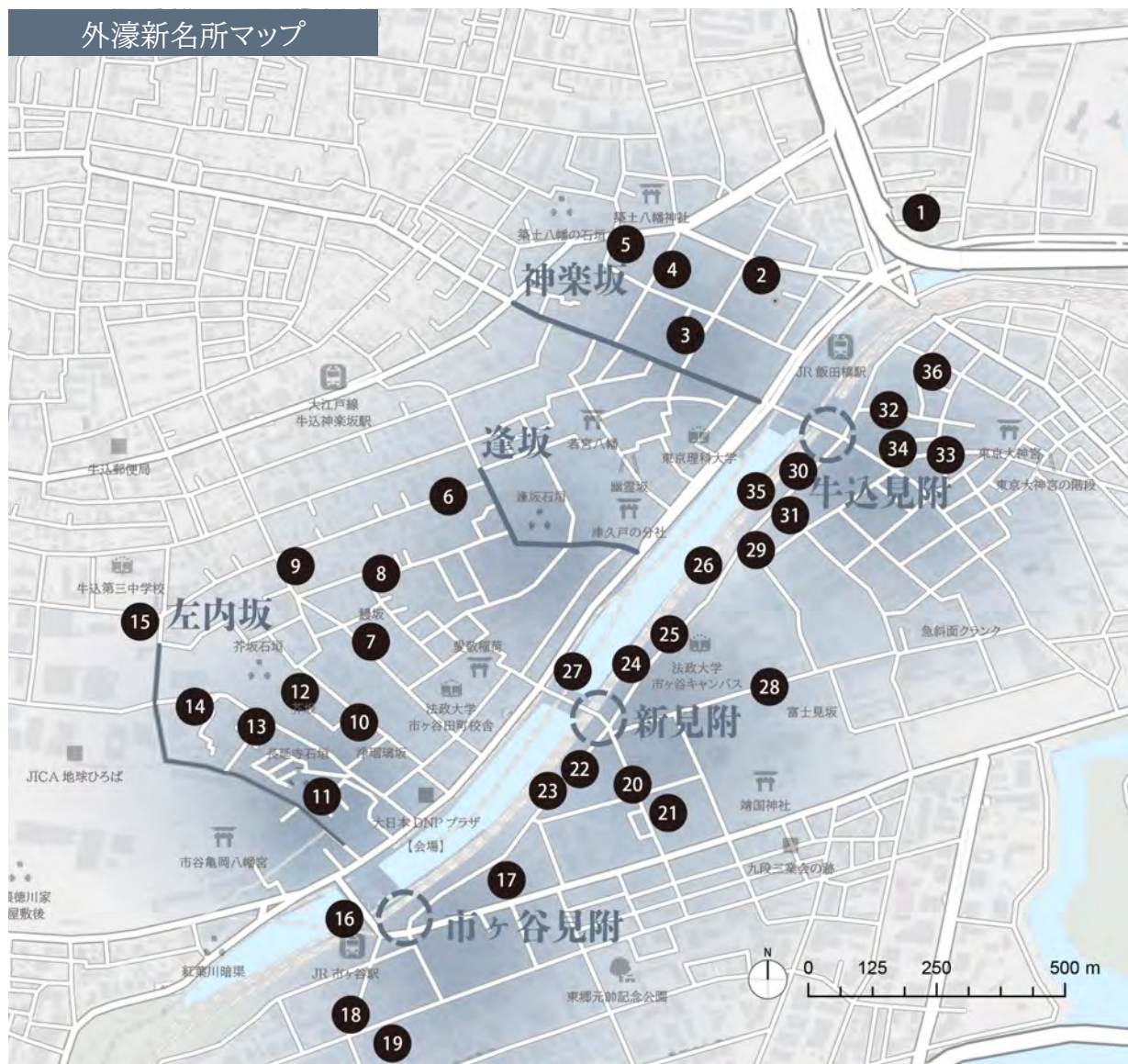
はしがき	3
神楽坂エリア	4
逢坂エリア	6
左内坂エリア	8
市ヶ谷見附エリア	10
新見附エリア	12
牛込見附エリア	14
企画概要	15
奥付	

はしがき

外濠周辺に散らばる“案外”いいかもしれない小さな“名所”、そんなスポットをまとめたのがこの「外濠新名所案内三十六景」です。外濠市民塾のメンバーと、2024年6月に開催したイベント「路上で発見！わたしたちでつくる外濠新名所」の参加者のみなさんが、路上観察家・林丈二氏にアドバイスをいただきながら、実際にまちを散策して選定を行いました。

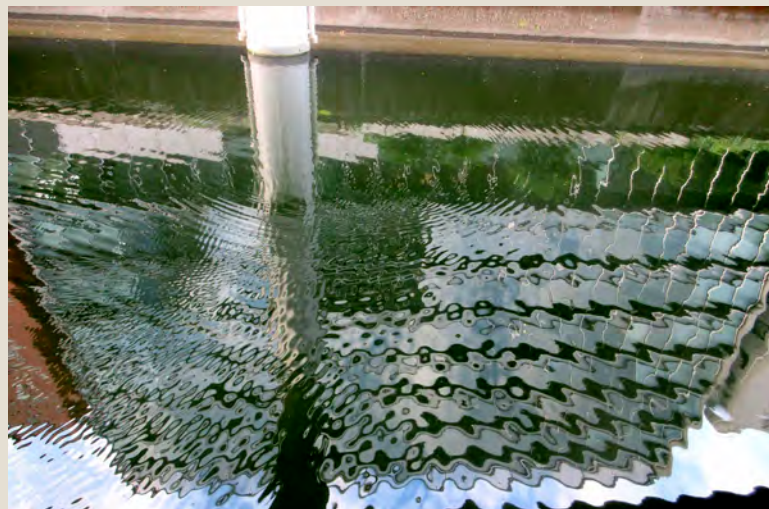
路上を観察することの醍醐味は、なんといっても普段は見落としてしまいそうな見慣れたの風景の中に、意外な発見を見つけることができることです。メディアやインターネット上で紹介される誰もが知る外濠周辺の名所ではなく、“私たち”自身が気づき、触れて、おもしろがることできる、ここにしかない新たな名所案内として作成しました。中には思わずニヤツとしてしまうようなものから、ある季節や時間にしか見られないものまで、一風かわった名所がならんでいます。外濠周辺のこれまでとは違う、新たな角度からの魅力として楽しんでもらえればうれしく思います。

また、日常を独自の視点で切り取っていく作業は、まちを知り理解するために最適な方法であり、また同時にそれはまちづくりを考えることの最初の一步でもあるといえます。自分自身の足であるき、目をこらして観察し、ときには実際に触れてみることで、ぜひみなさんならではの、“案外いい”かもしれないまちの魅力を探してみてください。

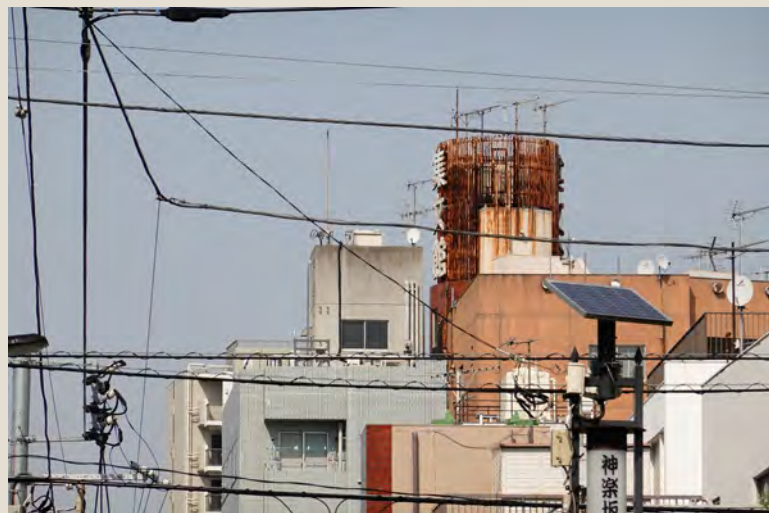


神楽坂 エリア

新宿区東端の一大商業地である神楽坂を中心としたエリア。起伏のある地形と、それに対応した複雑で迷路のような路地空間が魅力のまち。



1. 「ゆらゆらビル」



2. 「建物のガイコツ」





3. 「あっかんべえゴミ箱」



4. 「孤高の煙突」



5. 「月の住人」



6. 「寄りかかり堀」



7. 「折り合いレンガ」



逢坂

エリア

牛込台地から外濠へ斜めに伸びる逢坂周辺のエリア。東南向きの斜面地で、高台は江戸時代までは武家屋敷、明治以降は実業家の屋敷が建ち並び、現在もその雰囲気を残す閑静な住宅街となっている。



8. 「石のたまり場」



9. 「ポール3世代」

左内坂 エリア

市ヶ谷八幡神社に沿って伸びる左内坂周辺のエリア。外濠に向かって傾斜する斜面地で、江戸時代まで大部分が武家地、お濠沿いに町人地が広がっていた。現在は閑静な住宅街。



11. 「待機するET隊」



10. 「日の出」



12. 「狭小階段」



13. 「この先、神社」



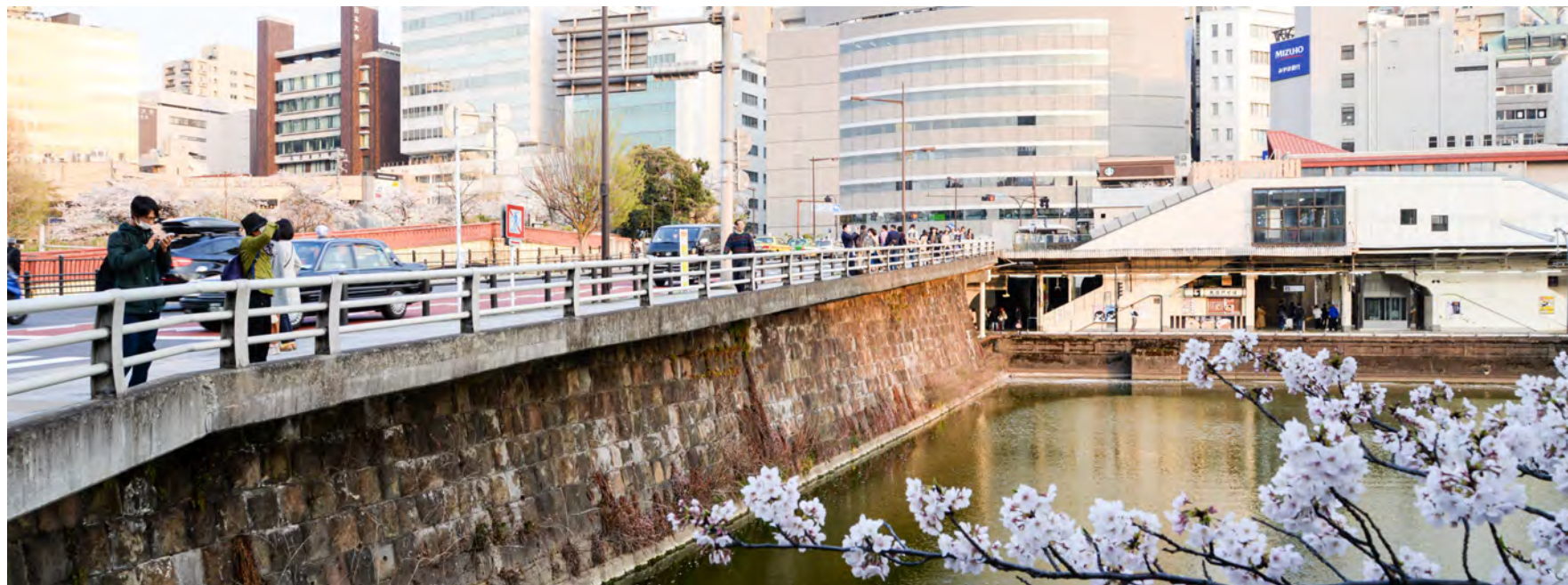
14. 「目玉おやじを探せ」



15. 「アールデコ階段」

市ヶ谷見附 エリア

旧江戸城外郭門のひとつである市ヶ谷見附を中心としたエリア。かつて御門があった場所は現在、市ヶ谷駅と外濠公園の一部となっている。駅を中心に企業が集積したオフィス街で、外濠公園沿いからは外濠の景観が一望できる。



17. 「水の行く筋」



16. 「孤高の木」



18. 「陣取りゲーム」



19. 「光の階段」

新見附

エリア

明治時代に造成された新見附橋周辺のエリア。
法政大学や三輪田学園といった教育機関が集積し、大通りから離れているため、静かで落ち着いた風景がある。外濠公園から見るお濠と対岸の景色は迫力がある。



21. 「モザイク石塀」



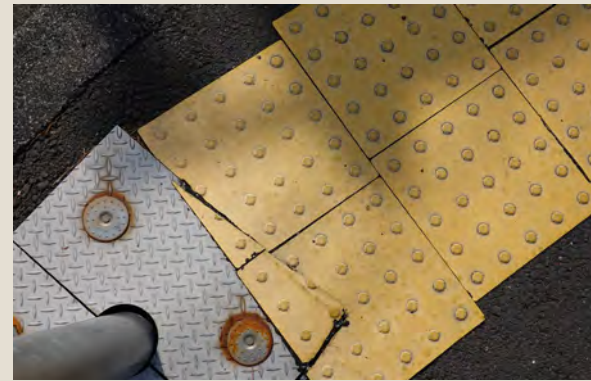
20. 「みんなでなんでだろう」



22. 「外濠モノリス」



23. 「引かれ合う二人」



24. 「ロケット帽子」



25. 「霞が式ビル」



26. 「JR地蔵」



27. 「キングギドラ」



28. 「ナメクジ街道」

牛込見附 エリア



30. 「路上の満月」



29. 「分断ブロック」

神楽坂の対岸で、かつての牛込見附を中心としたエリア。飯田橋駅西口の周囲に高層ビルが立ち並び、牛込見附の石垣がそのまま現存するほか、外濠の水位を調整する堰堤を見ることができると、外濠の特徴を色濃く残す場所でもある。



31. 「名残の石柱」



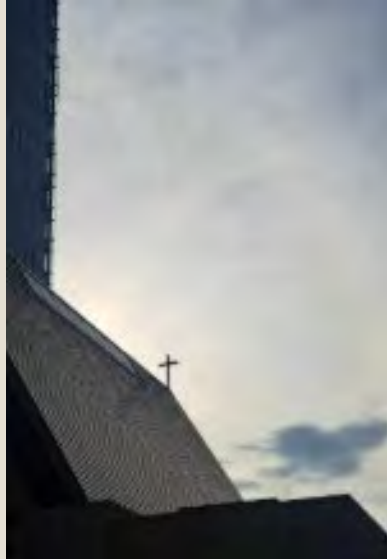
32. 「ワーム」



35. 「外濠トンボ」



33. 「ぺろぺろ」



34. 「飛び立つ十字架」



36. 「もっと飲め」

企画概要

2024年6月1日(土)、第15回外濠市民塾「路上で発見！わたしたちでつくる外濠新名所」を開催しました。このイベントは、ゲストに路上観察家として著名な林丈二氏をお招きし、レクチャーと新名所探しのためのまちあるき、そして新名所を選定するためのワークショップを実施したもので、本稿はその成果を基に、「外濠新名所」の内容に一部変更を加えて作成しています。また、掲載しているスポット写真は、イベント参加者の方々のものを基本としながら、運営スタッフならびに林丈二氏提供のものを加えています。以下、イベントの概要です。

企画タイトル

路上で発見!! わたしたちでつくる外濠新名所

日時・会場

日時:2024年6月1日(土) 13:00-17:00 /会場:DNPプラザ2F

参加状況

セミナー:47名 /まちあるき&ワークショップ:38名

プログラム

- 1) 導入セミナー(講師:林丈二)
 - ・外濠周辺タイムスリップ
 - ・路上観察スライドショー
- 2) まちあるき -外濠新名所をさがす
- 3) ワークショップ -外濠新名所をつくる
- 4) 発表
- 5) 懇親会



イベント実行委員

高道昌志(東京都立大学助教)
/塚本柊平(東京理科大学院生) /坂本海斗(東京理科大学院生)
/大簇望(法政大学院生) /鴨潤矢(法政大学院生)
/會田龍一郎(日本大学院生) /鈴木杏子(日本大学院生)

スタッフ・運営協力

委員長:陣内秀信(法政大学)
福井恒明(法政大学) /郷田桃代(東京理科大学) /小松妙子(法政大学) /
高道昌志(東京都立大学) /亀田和宏(大日本印刷) /廣田幸司(大日本印刷) /田崎渉(電通 tempo)

法政大学エコ地域デザイン研究センター /東京理科大学外濠及び神楽坂地域調査研究推進室 /東京都立大学大学院都市政策科学域 外濠研究チーム /法政大学江戸東京研究センター /三輪田学園 /日本大学理工学部まちづくり工学科歴史まちづくり研究室 /中央大学理工学部都市環境学科河川・水文研究室 /新宿区立四谷図書館 /大日本印刷ソーシャルイノベーション研究所 /電通 tempo

「外濠新名所案内外三十六景」

編集：高道昌志、鴨潤矢、鈴木杏子

協力：林丈二

発行：外濠市民塾実行委員

<https://sotobori.ws.hosei.ac.jp/wp/>

2025年3月 発行

※本稿の内容を無断で転載、複製、複写、放送、データ配信などを行うことは、かたくお断りいたします。